

パブリックコメント

市川市自転車等駐車場における経営手法の見直し方針案に関する意見募集結果について

道路交通部交通計画課 駐輪・駐車施設担当室

□募集期間：平成27年5月16日（土）～6月15日（月）【30日間】

□ご意見を応募された方の人数及び意見の件数：12名17件

□ご意見への対応：①ご意見を踏まえて修正するもの 2件
 ②ご意見の趣旨や内容について、考え方が盛り込み済みであるもの 2件
 ③今後の参考とするもの 2件
 ④その他 11件

番号	意見分類	意見の概要	市の考え方・対応	意見対応
1	コストの適正化	・駐輪場の数や規模を見直して、経費縮小に努めるべきである。	・駅圏ごとに利用状況の現状と将来の見通しを勘案しながら、市営駐輪場の統廃合について検討してまいります。	①
2	コストの適正化	・放置自転車の撤去保管に要する経費を勘案して適正な撤去保管料を設定すべきである。	・駐輪場の経営手法の見直しに当っては、放置自転車対策についても配慮するものとしています。 ・放置自転車の撤去保管料で、現行料金（自転車3,000円、原付6,000円）は概ね妥当な額であると考えております。	④
3	コストの適正化	・駐輪場管理の業務委託に係る人件費等や間接費の見直しが必要である。これらを明示し、委託料をどのように下げるかを考察してから見直し方針を展開させていくべきである。	・駐輪場の管理等業務委託につきましては他の業務委託に比して低い間接経費で対応しているところではありますが、今後とも駐輪場の利用形態に応じた時間ごとの人員配置等について精査してまいります。	④
4	料金の適正化	・無料駐輪場は、最低で100円を徴収することを提案する。	・駐輪場のサービス・地域性に応じた使用料を設定してまいります。	④
5	料金の適正化	・屋根や階層で料金の細分化は賛成ですが、土日は空いているので一時利用できるようにしてほしい。	・定期利用のスペースを利用率が低くなる土・日曜日等に1回利用に供することで、駐輪場の効率的な運用が図れるものと考えます。半面、費用の増加もみこまれますことから、利用の状況を踏まえ、柔軟に対応して、駐輪需要に応じていきたいと考えています。	①
6	受益者の拡大	・受益者を駐輪場利用者に限定するのは誤りである。駐輪場を設置していないバス・鉄道会社や近隣商店、その他広義の受益者を含め全体で費用負担すべきであり、運営費を利用料で賄う必要はなく、無料駐輪場の有料化も不要である。	・自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律の規定に基づき条例により店舗・事務所等に対し駐輪場の附置義務を課しております。また、鉄道事業者には、駐輪場設置に当って同法に規定する用地提供（低額貸付）等の協力義務を履行していただいております。	④

7	無料駐輪場の維持	<ul style="list-style-type: none"> ・有料化は、世帯構成によっては経済的に大きな負担となる。駅圏にある駐輪場のうち1箇所でも無料施設として確保してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市営駐輪場につきましては、特定の方が利用する施設であり、無料駐輪場にも維持管理コストがかかっていることから、無料駐輪場の有料化を考えております。 	④
8	無料駐輪場の維持	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世帯や若者への支援として、学生は無料か大幅減額すべきである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、有料の市営駐輪場の定期利用料金は、高校生以下については、政策的に一般料金の半額としております。 	④
9	無料駐輪場の維持	<ul style="list-style-type: none"> ・有料化すると店や公園への放置が増えて巡回と撤去では限界があるので、ある程度無料にすべきである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者負担の適正化を図るため、無料駐輪場の有料化を考えております。なお、経営手法の見直しに当たっては、ルール・マナーの啓発、放置自転車対策は継続して行っておりまいます。 	④
10	駐輪場の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・市川第8の無料駐輪場は満車待ちになることが多いが、管理者の裁量によって対応が異なる。有料化して駐車台数の明確化を望む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市川第8駐輪場を含め無料駐輪場は有料化を考えており、適正な収容台数を設定して運営してまいります。 	②
11	駐輪場の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車利用は、CO2削減、生活習慣病予防、大震災発生時の代替交通として有効である。市営駐輪場は、放置防止に留まらず、自転車の利用を促進する施設として捉え直すべきである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市は主として通勤・通学のための長時間利用に対応するために駐輪場を整備してきており、放置対策のため一部を無料としてきました。放置自転車がピーク時の12,000台から近年1,000台未満に著しく減少しており、無料駐輪場としての政策効果は果たされ、施設の性格が変容しているものと考えております。 	③
12	民間活力の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・駐輪場の管理は高齢者に任せればよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市営駐輪場の経営手法の見直しに当たっては、市内に在住する高齢者の就労機会の確保に配慮いたします。 	②
13	民間活力の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・民間活力の活用により、無料にできる駐輪場もあるのではないかと。民活の相手方の決定、その進め方について議論の余地がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・民間活力の活用につきましては、指定管理者制度（利用料金制を伴う）をはじめ、サービス向上の観点から最適な手法を種々検討してまいります。 	③

14	民間活力の活用	<ul style="list-style-type: none"> 民間で行ってサービスが向上するためには、競合他社との競争が不可欠だと考えるが、公的な役割が大きい市営駐輪場でそれを実現できるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 民間活力の活用のあり方につきましては、駐輪事業の公益性に鑑みながら、効率性・有効性などの観点から最適な手法を種々検討してまいります。 	④
15	サービスの拡大	<ul style="list-style-type: none"> 本八幡駅・市川駅周辺には、中型・大型のバイク駐車が少ないので、市営駐輪場で一部開放してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 市は主として、通勤・通学者の長時間駐輪に対応するため駅周辺に駐輪場を設置しており、中型・大型バイクの駐輪場での受け入れは想定しておりません。 市営駐輪場での受け入れ対象としては、原付2種（排気量125ccまで）の駐輪需要について、利用者サービス向上の観点から検討してまいります。 	④
16	見直しの時期	<ul style="list-style-type: none"> 外環道路の整備とともにバス路線を増設することで自転車通勤は減少し、駐輪場数も減少するため、バスの利便性を高めてから有料化をすべきである。 	<ul style="list-style-type: none"> 受益者負担の適正化の見地から、駐輪場の運営に要する経費は原則、利用者の使用料で賄うようにするものです。 	④
17	見直しの時期	<ul style="list-style-type: none"> 自転車の走行空間を整備してから有料化すべきである。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年6月、市川市自転車走行空間ネットワーク整備計画を策定しました。今後、計画に基づき整備を進めてまいります。 	④